

専攻科 7月16日（水）

## 第7回講座 「星の輪廻転生・銀河宇宙」

講師 高梨 直紘氏（東京大学特任教授）

日時 平成26年7月16日（水）10:00～15:00

場所 千葉市科学館

### テーマは、星の一生と銀河の構造・多様性

高梨直紘講師による天文学講座。本日より12月、2回に分けて宇宙のことを学ぶ。昨年の本科講座で最先端の天文学についての講義を聞いて、難しそうな天文学に親しみを覚えて、興味を抱かれた人も多かったろう。本日は、星の一生と銀河について少し突っ込んだ話を聞いた。どこか遠くのことと思っていた宇宙のことを少しでも知ろうという意欲が湧いてくる講義だ。講義も終わり質問時間に入ると、興味津々な受講生から宇宙の根源についての遠慮ない質問が浴びせかけられる。無限か有限かの宇宙に関するあの素朴な疑問などである。こんな難しい質問ばかりですかと、愚痴ながらも、一つ一つに丁寧に答えていかれた講師の博学が印象的だった。

星の一生を人間の一生に例えて紹介された。子供の星、大人の星、シニアの星があるという。星の明るさと色によってそれは分るというが、星の一生は HR 図（恒星の分布図）を描くと理解しやすいというので、10 数個の恒星を図に書き入れる作業をやってみた。次の話題は巨大な天体、銀河について。その構造、楕円銀河・渦巻銀河・不規則銀河など銀河の多様性、更に 130 億年前に形成されたという銀河について関するモデル理論（段階的銀河形成モデル）、終わりに銀河の進化モデルについて説明され講義を締めくくられた。



高梨 直紘講師



千葉市科学館での講義風景



星は原始のガス雲から生まれ、主系列星に成長し、やがて赤色矮星に変化するという。この段階でその星の質量（太陽質量の7倍を基準）によって、白色矮星になるか、赤色超巨星から超新星に至り、分裂して中性子星かブラックホールになるという。これが星の一生である。